

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成 19年 5月 10日

## 【評価実施概要】

事業所番号	1273100329		
法人名	株式会社 ホーリー・ポーリ		
事業所名	かずさ三条の里		
所在地	〒293-0006 千葉県富津市下飯野998 (電話) 0439-80-1171		
評価機関名	特定非営利活動法人 日本高齢者介護協会		
所在地	〒113-0021 東京都文京区本駒込3-15-10		
訪問調査日	平成19年4月5日	評価確定日	5月10日

【情報提供票より】 ( 19年2月10日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 4月 1日
ユニット数	2 ユニット
職員数	16 人
利用定員数計	18 人
常勤	9人, 非常勤 7人, 常勤換算 11.7人

### (2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	2 階建て	1 階 ~	2 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	10,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(00,000円)	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,000 円	

### (4) 利用者の概要 ( 2月 10日現在 )

利用者人数	15 名	男性	4 名	女性	11 名
要介護1	2 名	要介護2	7 名		
要介護3	5 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83.1 歳	最低	74 歳	最高	99 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	今村内科病院
---------	--------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームは環境に非常に恵まれ(近くに古墳・神社あり)、日当たりも良く前庭も広々としてゆったりとしています。</li> <li>・職員の方々は、利用者の方が自分らしく暮らすことをモットーに、日々介護サービスしています。</li> </ul>
--

## 【重点項目への取組状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回職員を育てる取り組みが課題とされましたが、社内勉強会の実施・レベルに合わせた外部研修受講の指導と体制作りがなされ、著しく改善されています。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>マニュアルの作成や救急救命処置の受講を実施しています。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議で、家族から年間の予定表の提出要望があり、3月に提出済みです。又、利用者職員のリスト・顔写真の提出要望もでていますが、プライバシーの問題もあり目下検討中です。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>面会時に家族のご意見を聞き、又運営推進会議でもお聞きし、運営に反映させています。</p>
重点項目③	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会の打合せ・行事には積極的に参加しています。又地域のNPO環境整備には登録しています。</p>
重点項目④	

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「自分らしく暮らす」という理念を掲げています。	○	地域密着型サービスとしての理念の構築を期待します。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の共有の下、ミーティングや勉強会を通して、日々取り組んでいます。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会の打合せ・行事には積極的に参加しています。又、地域のNPO環境整美には登録しています。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価・外部評価の意義を理解し、マニュアルの作成や、救急救命処置の受講などの改善を実施しています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を開催し、その場で出たご家族のご意見(年間の予定表の提出等)を率直に受け止め、改善しています。	○	今後は、前回ご都合が悪く出席がなかった方々(町内会・市の関係者等)にも出席頂き、意見を頂く様努力されることを期待します。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の主催する介護事業者状況報告会に積極的に参加しています。又、福祉事務所からのご相談にも対応しています。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族へ日々の様子等を、月1回手紙で報告しています。金銭はお預かりしないで、実費を領収書を添えて家族へ請求しています。又、変化等は適時(面会・電話)で報告しています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時に、家族のご意見をお聞きしています。又、運営推進会議でもお聞きし、運営に反映させています。	○	今後は、時々家族アンケートを実施され、直接言えないことや、面会に来られない方のご意見も伺うよう努力されますことを希望します。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は殆どないですが、異動時には事前に馴染みの職員から伝えるよう心がけています。新人職員が入った時も、馴染みの職員から紹介するよう配慮しています。又、相性も考慮して担当配置しています。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	勉強会を、月1回開催しています。レベルに合わせて外部研修を受講する様指導しています。その際、費用(交通費・研修費)は会社負担、出勤扱いとしています。そして、学んだことを勉強会で発表してもらい、社長にレポートを提出するようにしております。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	介護事業所の連絡会に参加しています。	○	経営者・管理者層ばかりでなく、職員の方も出席できるよう(見聞を広めるため)関係方面に働きかけることを期待します。
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	以前使用していた家具や、家族の写真など持参して入居されています。隣接するデイサービスを使用し雰囲気に慣れた後、入居されるように段階を踏まれています。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者個々の言動に、礼儀を持って対応する人間関係を築かれています。開放的な環境で、自己表現を存分にさせる関係を作られています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の希望が叶えられる対応がなされています。握手などのスキンシップや、ゆったりと過ごせる時間で、介護が出来るよう仕事量の配分をされています。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員は、家族との関係を保ち、活発な意見交換がなされており、又ミーティングの意見が介護計画に反映されています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	区分変更や退院など新たなサービスプランを作成し、利用状況に合わせて提供されています。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	デイサービス利用者などと共に、季節や近隣の状況に応じて運動会、花祭りなど年に5-6回のイベントを合同でされています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	個別の医療機関を第一優先にされています。連携機関だけでなく状況に応じて主治医と連絡を密にし、付き添われています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	「重度化した場合における対応に関わる指針」の書類を作成し、入居時に同意を得られています。また、状況に応じて再確認の合議をされています。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	入居者個々の禁句に気をつけ、自己決定を優先し、プライバシーに踏み込まない介護をされています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事時間は決まっていますが、約束事を少なくし、焦らない介護を実践されています。自然に活動的になるようレクリエーション支援をされています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者のレベル状況の変化により、役割でなく自然に行なえるように援助されています。現在は、気分を妨げない言葉かけで後片付けのみの対応をされています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回、一日4-5人、午後4-5時頃までの基準で、常時24時間入浴出来るようになっており、個人の希望に合わせてられる配慮がなされています。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	役割としてではなく、縫い物・折り紙・習字など喜びに繋がるレクリエーションとして日々の気晴らしをプランニングされています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	徒歩5-6分の好条件により近隣神社への参拝やファミリーレストランでの喫茶など週2回の散歩外出が常になされています。また、シーワールドやサーカスなど遠出外出を年2回企画されています。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	芝生が広がる開放的な敷地です。1字型の建物で直線廊下の片面が全面窓硝子となっているため視界を遮らずに田園風景を見渡せるなど、鍵をかけずに対応出来る環境にあります。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防法の対象建物ですので、防災設備(消火器・非常ベル・避難誘導灯・消防署直通電話・非常階段等)を完備しています。又、年2回所内で消防訓練を実施しています。	○	災害時の、対応手順(手順・連絡先・搬出優先順位)の作成と掲示を望みます。又消防署にお願いして消防訓練・救急救命処置を実施して頂き、町内会も参加されますことを期待します。
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の好き嫌いに対応されています。病気などの禁食に配慮されています。	○	何日何時から体調変化が起こっているかなど、ふり返ってデータ分析がなされるよう水分・食事摂取記録等の整備と充実を希望します。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	行事の写真・四季折々の飾りつけ・折り紙等居心地よく生活できますよう工夫されています。又、ベランダでつるげるようになっております。庭には、四季の花々が植えられ、ペットの犬や小鳥も飼われておりくつろいだ雰囲気です。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の思い出の品物(たんす・写真・人形・机等)を持ち込まれています。又、利用者の希望により畳敷きにしております。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。